

「デザイン思考」の5つのプロセス 第一看護科2年・第二看護科2年 共同学習（本科実習室）2024/1/24

(1) 共感 (Empathize) 「デザイン思考」は、まずユーザーの共感を得ることから始まる。具体的には、インタビューやアンケートを行ったり、観察したりすることにより、ユーザーが何に共感しているのか、本当に求めているものは何かを見つけ出していく。

(2) 定義 (Define) ユーザーの「共感」をヒントに、ユーザーのニーズを定義する。本当は何を実現したいのか、潜在的な課題は何なのかを深掘り、抽出していく。

(3) 概念化 (Ideate) ユーザーが実現したいこと、ユーザーのニーズを定義できたところで、ブレインストーミングなどの手法を用いて、それを解決するアイデアやアプローチ手法を話し合っていく。

(4) 試作 (Prototype) アイデアが固まったところで、次はチームの支持を得たものの試作品を作ろう。時間やコストをできるだけ掛けずに、取りあえず一度形にしてみる。そうすることで、新たな視点や問題点に気づくことができる。

(5) テスト (Test) 試作品に対するユーザーテストを繰り返し、フィードバックされた意見を参考にブラッシュアップを図っていく。

